

いずれにせよ、数々の最近の事件を報道内容から考えますと、身勝手な、自分さえ良ければ、という人物による犯罪が殆どのように思います。あおり運転や無差別殺傷事件、幼児の虐待・暴行事件などはその典型的な事件でしょう。一日も早く平和で事件の無い日々の来るのを願って止みません。

(令和元年 12 月 8 日記)

年 頭 所 感

奥野製薬工業株式会社
社 長 奥 野 和 義

新年明けましておめでとうございます。

本研究会のメンバーの皆様には、お健やかに新年をお迎えになられましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は内外で激動の一年でした。国内では令和の年号になりめでたく天皇陛下がご即位され、10 月には即位礼正殿の儀が、また 11 月には天皇皇后陛下の「祝賀御列の儀」のパレードが盛大に執り行われましたのは記憶に新しい出来事でした。一方、近年まれにみる台風 19 号などの豪雨に遭われ、被災地域の住民の方々に大きな心の傷跡を残しました。

海外では英国のブレグジットやドイツの新たな分断、ウクライナ問題、トルコ、イラクを含む中近東問題がくすぶり、はたまた北朝鮮のミサイル発射、香港のデモ騒動、韓国の反日化など近隣諸国にも気を抜けない諸問題が山積しております。暮れには中国成都で日中韓の首脳会談が開催され、隣国間で東アジアの危うい均衡が改めて浮き彫りになりました。

一方、一昨年からの米中貿易摩擦により中国国内の生産減や消費低迷の影響を受け、また昨年 11 月施行の消費税増税も重なり国内の景気動向も芳しくない方向に向かいつつあるのが懸念点です。今年が目玉である東京オリンピック、パラリンピックの開催で日本選手の活躍を期待しつつ、これを契機に世界に向け日本のすばらしさを発信したいものです。

昨年の最大のトピックスは旭化成の吉野彰名誉フェローが 2019 年のノーベル化学賞受賞に輝いたことでしょう。現在、誰もが恩恵にあずかっていますスマートフォンやノートパソコン、EV など幅広い用途に使われ、また再生可能エネルギーの貯蔵にも利用されるリチウムイオンバッテリーを発明し実用化した功績に対し評価されました。吉野氏は「企業では基礎研究から製品まで一貫通貫で研究できたことが功を奏した」と話しておられました。「素材を開発しないと乗り越えられない壁が随所にあり、素材を自ら開発する立場にあったからこそ電池形成の基本発明ができた。」とも語っておられます。開発当初のポリアセチレン樹脂に代わる炭素材料の発見など、素材の探求が電池の実用化と普及のカギとなったようです。旭化成は電池材料の実用化の執念も

強く、吉野氏の成果をセパレータ事業として M&A を軸に世界トップのメーカーとして盤石な地位を構築されました。吉野氏はストックホルムのノーベル賞受賞式の講演で、「これからの地球環境に必ずリチウム電池が中心的役割を果たす。」と訴えました。

本年は携帯通信などに高速通信 5G が運用され、自動運転化が実用になりモビリティを取り巻く環境が大きく変化するとともに、工場の生産効率向上や先進医療などに IoT や AI が当たり前活用される新時代の幕開けになるようです。やはり、アルミ合金材料が産業界の枠組みを超えいたる所に応用されていきます。この応用技術にはアルマイトをベースとした表面処理が欠かせません。本研究会の出番です。

本年が本研究会にとりまして、先を見据えた確かな一歩となりますよう心から祈念いたし、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

年 頭 所 感

企画運営委員
株式会社太洋工作所
喜多村 康 一

新年、あけましておめでとうございます。令和最初の新年を迎えられ、皆様健やかにお過ごしのことと存じます。旧年中は研究会の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り誠に有難うございました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

昨年は、今上天皇のご即位と令和という新しい時代の幕開け、G 2 0 の大阪での開催、初のベスト 8 へ進出した日本チームの健闘で大いに盛り上がったラグビーワールドカップなど、日本が大いに世界からも注目された一年の様に振り返って感じております。

令和二年の今年は、オリンピック・パラリンピックイヤーという事で、やはりスポーツで盛り上がる一年なのかと思っておりますが、通信分野では 5 G が本格的に実用化される 5 G 元年でもあります。

また新たな時代が到来するのでは、期待をしています。

表面処理の分野においても AI や IoT などの活用による新たな時代が到来しているものと思います。本研究会では、今年も講演会や見学会、講演大会など会員の皆様に少しでも役立つような行事を企画して参ります。今年も一年間どうぞ、よろしくお願いいたします。